

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

久木元 真吾

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は、社会学の文献の講読、および個人研究の報告を行う。それらを通じて、社会的な思考法、研究の進め方とまとめ方、プレゼンテーションおよびコメント・ディスカッションの習熟をめざす。

本演習の主な領域は、家族・ライフコース・ジェンダーに関する社会学である。また、多文化的状況や国際比較研究についても関心を払う予定である。

社会学演習Ⅰは、文献の講読と報告を中心に進める予定である。

2. 授業の到達目標

自らの問題関心に基づいて適切な問いを設定し、その問いについて論理的・社会的な思考をし、その思考を言葉で表現・説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

報告の内容(30%)、議論への参加度・貢献度(50%)、提出課題(20%)により評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

永田夏来・松木洋人編 『入門家族社会学』 新泉社

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

毎回、文献・資料を各回の前後にしっかりと読んでおくこと。演習で質問や議論ができるよう、わからない点についてはあらかじめ調べておき、疑問点や自分の考えを整理しておくこと。グループでの作業や議論も、必要に応じて進めておくこと。

6. その他履修上の注意事項

「人口と家族の社会学」および「家族とジェンダーの社会学」を履修済みであることを前提に授業を進める。

欠席・遅刻不可。議論への積極的な参加は必須である。

7. 授業内容

【第1回】	イントロダクション／報告分担の決定
【第2回】	報告と議論
【第3回】	報告と議論
【第4回】	報告と議論
【第5回】	報告と議論
【第6回】	報告と議論
【第7回】	報告と議論
【第8回】	報告と議論
【第9回】	報告と議論
【第10回】	報告と議論
【第11回】	報告と議論
【第12回】	報告と議論
【第13回】	報告と議論
【第14回】	報告と議論
【第15回】	まとめ